

**I**

(1)  $-49$

(2)  $-1 < a < 0, 0 < a < 1$

(3)  $-7$

(4)  $\sqrt{17} - 3$

(5)  $8t^4 - 8t^2 + 1$

(6)  $\frac{-3 + \sqrt{37}}{2} \leq x < 2$

(7)  $-4 < a < 28$

(8)  $\frac{11}{6}$

(9) 2688 通り

(10) 108 通り

(11)  $n = 3, 4$

(12)  $a_n = 3 \cdot 2^{n-2} + \left(\frac{2}{3}\right)^{n-2}$



**III** (1)  $m = 1$  のとき  $n = 2$  である。このとき

$$A - G = \frac{a_1 + a_2}{2} - \sqrt{a_1 a_2} = \frac{a_1 + a_2 - 2\sqrt{a_1 a_2}}{2} = \frac{(\sqrt{a_1} - \sqrt{a_2})^2}{2} \geq 0$$

より  $A \geq G$  が成り立つ。

(2)  $a_{n'+1}, a_{n'+2}, \dots, a_n$  は  $n - n' = n' = 2^k$  個の数からなるので、 $A_2, G_2$  はそれぞれ  $2^k$  個の正の数の相加平均、相乗平均であるから。

(3)  $2^9 = 512, 2^{10} = 1024$  より、 $n = 1000$  のとき  $m = 10$  である。

(4)  $A', G'$  はそれぞれ  $2^m$  個の正の数の相加平均、相乗平均であるから。

(5) 条件より  $\frac{h_1 + h_2 + \dots + h_{40}}{40} = h_0$  だから  $h_1 + h_2 + \dots + h_{40} = 40h_0$  である。よって  $h_1 + h_2 + \dots + h_{40} + h_{41} + h_{42} + h_{43} = 40h_0 + 3h_0 = 43h_0$  であるから、43 人の平均身長について

$$\bar{h} = \frac{h_1 + h_2 + \dots + h_{40} + h_{41} + h_{42} + h_{43}}{43} = h_0$$

が成り立つ。つまり、43 人の平均身長は元の 40 人の平均身長に等しい。

(6)  $A^{2^m} \geq G^n A^l$  の両辺を  $A^l > 0$  で割って  $A^{2^m - l} \geq G^n$ 、すなわち  $A^n \geq G^n$  が得られる。 $A > 0, G > 0$  であるから、この不等式の両辺の  $n$  乗根をとって  $A \geq G$  が得られる。

(7)  $P_1, P_2, P_4, P_8, P_{16}, P_{32}, P_{64}, P_{128}, P_{256}, P_{512}, P_{1024}, P_{1000}$